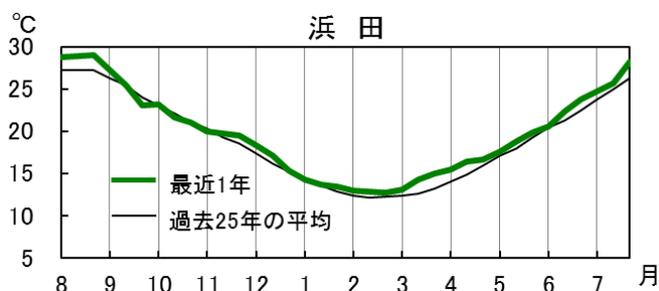




## 《7月の海況》



7月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや高め	26.2℃	+1.2℃	かなり高め	25.6℃	+1.3℃
中旬	平年並み			やや高め		
下旬	やや高め			やや高め		



## 《7月の漁況》

### 【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類が平年の2.1倍、マアジは平年の5割でした。隠岐地区ではウルメイワシ、サバ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は51.4トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ウルメイワシは3,352トンで平年の1.1倍、サバ類は2,129トンで平年の4.8倍でした。一方、マアジは323トンで平年の4割、マイワシは197トンで平年の1割となり、不漁でした。

### 【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)での漁獲はケンサキイカ、スルメイカが主体となり、1隻1航海当りの漁獲量は69.2kgで平年の8割ほどでした。西郷地区(属人5トン以上)での漁獲はスルメイカが主体で、1隻1航海当りの漁獲量は52.7kgと、平年の5割ほどの水揚げでした。

### 【ばいご漁業】

石見地区ではエッチュウバイを主体に、総漁獲量は32.9トンで平年の1.0倍、1隻1航海当たりの漁獲量は1.2トンで平年の1.1倍でした。エッチュウバイの漁獲量は29.6トンで平年の1.1倍、銘柄別では「中」「中大」及び「大」の3銘柄で全銘柄の9割弱を占め、特に「中大」は11.2トンで平年の1.4倍でした。

### 【しいら漬け漁業】

6月から始まった石見地区のしいら漬け漁業はシイラ主体の漁況で、総漁獲量は6.5トンで平年の1割ほどの水揚げでした。魚種別の漁獲量の動向は、1隻1航海当りの漁獲量は810kgと、前年の3割ほどの水揚げでした。

### 【定置網漁業】

出雲地区ではサバ類、イサキ、サワラ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は18.5トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の2.8倍、イサキは平年の9割、サワラ類は平年の7割でした。石見地区ではサバ類、イサキ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は14.1トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の1.9倍、イサキは平年の1.0倍でした。隠岐地区ではイサキ、ケンサキイカ、サバ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は9.8トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、イサキは平年の6割、ケンサキイカは平年の7割、サバ類は平年の9割でした。

### 【釣・縄】

出雲地区ではケンサキイカ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は19.4kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の6割でした。石見地区ではケンサキイカ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は18.0kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の6割でした。隠岐地区では、マダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は20.5kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マダイは平年の3.8倍でした。

【令和5年7月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	—	—	—	—	—	—
	隠岐	ウルメイワシ、サバ類	6,122トン	61%	104%	51.4トン	80%	134%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ、スルメイカ	5.1トン	124%	58%	69.2kg	113%	86%
	西郷	スルメイカ	11.3トン	56%	45%	52.7kg	68%	45%
ばいかご	石見	エッチュウバイ	32.9.トン	79%	103%	1.2トン	96%	114%
しいら漬け	石見	シイラ	6.5トン	16%	6%	810kg	30%	12%
定置網 (大型)	出雲	サバ類、イサキ、サワラ類	241トン	78%	70%	18.5トン	78%	70%
	石見	サバ類、イサキ	56.6トン	61%	68%	14.1トン	61%	68%
	隠岐	イサキ、ケンサキイカ、サバ類	29.3トン	85%	65%	9.8トン	85%	65%
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ	33.5トン	118%	80%	19.4kg	114%	90%
	石見	ケンサキイカ	37.9トン	91%	78%	18.0kg	107%	94%
	隠岐	マダイ	19.0トン	70%	76%	20.5kg	106%	104%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

- ※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ  
「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ  
「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ  
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ